



令和3年6月18日

ふるさと教育

【地域課題探究型学習推進事業】

## 第68回日本生態学会全国大会 高校生ポスター部門で審査員特別賞を受賞しました！

2年生の総合的な探究の時間に、魚の保全活動に取り組んできたグループが、令和3年3月20日に開催された日本生態学会の全国大会で審査員特別賞を受賞しました。「高校生の手による身近な河川の自然再生について」というタイトルで発表しました。



オンラインで質問に答える様子



笠原川での自然再生の成果を発表

この大会に参加して、他校と研究交流することで、私たちが保全活動をする中で出てきた謎を1つ解くことができました。

私たちの石積みの保全活動では、オイカワが増えた場所ではカワムツが減り、カワムツが増えた場所ではオイカワが減るという結果が出ていました。兵庫県立宝塚北高校さんの発表でオイカワとカワムツは競争関係にあり、どちらかが増えるとどちらかが減る可能性が実験で示されていました。この半年間は減ってしまった魚に対する石積みの負の影響ばかり考察していましたが、生き物同士のつながりを考えることに気づかされました。

本活動は、多治見ロータリークラブ、河川基金、多治見市土岐川観察館、土木研究所自然共生研究センターの支援を受けて実施しています。ご支援ありがとうございます。

担当：佐賀達矢・古田健也

